



はーとふるメッセージ2003



特選作品介绍
第 2 回

作文・小学生の部

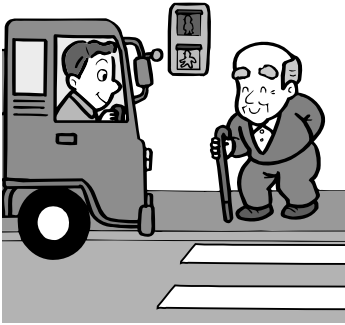


磯崎加奈子さん
(城北小学校6年)

あたたかい心で いっぱい

わたしが父と買い物に行った
ときのことである。買い物をする
ませ、車にもどると、一人のお
じいさんが目にはいった。

そのおじいさんは、目をとじ
ていて、つえを左右に動かしな
がら歩いている。わたしは「だ
いじょうぶかな、どこに行くの
かな。」と気になり、しばらく
よつすを見ていた。するとおじ
いさんは体のむきを変えて商店
街の窓ガラスの方へ歩いてい



た。行きたい店が、この辺りに
あるらしい。わたしは心の中で
「あぶないっ!」とさげんだ。
そのときおじいさんは、自分の
手で窓ガラスをさわわり、方向を
確かめて窓ガラスに沿って歩き
だした。わたしは、ほっとした
が、まだ少し心配になって見て
いた。
ある店の前は、物がたくさん
置いてあり、おじいさんは立ち
止まった。すると店の中から店
員さんが出てきておじいさんに
「どつしたんですか。行きたい
店はどこですか?」

さんが答えた店の方まで、背中
を支えるようにして案内してい
った。横断歩道をわたるときも
店員さんがかけつけて、見送っ
ていた。

わたしは一度アイマスク体験
をしたことがある。目の前は真
つ暗でとてもこわく、一歩をふ
みだすのに時間がかかった。友
達のかたをもつと少し安心して
前に進めた。おじいさんも、き
つと店員さんの声かけや案内が
助けになったにちがいない。

わたしは学校のチャレンジの
学習で目の不自由な人にとって
安全で住みよい社会が、とい
うことについて調べていた。ある
店にも行き、目の不自由な人の
ために工夫していることはない
かインタビューをした。すると、
店長さんはこういった。
「店の入口と出口に点字プロ
ックがあるだけです。」

わたしは少しびっくりにした。
点字の商品についてたずねたと
きも、「ありません」という返

事が返ってきて、さらにおどろ
いた。でも商品を調べてみると
お好みソースやシャンプルー、缶
ビールにサランラップなどいろ
いろなものに点字があった。店の
床もつるつるしていてすべりや
すい。あのおじいさんが
来たらどうだろう。住み良い社
会とは、どういふことだろう。

わたしはまず、みんなが周りの
人のことを理解することが大切
だと思ふ。そして思いやる気持
ちをもつことだと思ふ。

わたしはあのおじいさんの店員さん
を思い出した。自分から進んで
声をかけ、手をさしのべた店員
さん。ちよつとした親切は、お
じいさんの心をあたたかくした
だろう。わたしが電車でおばあ
さんに席をゆずったとき、「あ

りがとう」と言われてうれし
い気持ちでいっぱいになったこと
を覚えている。優しくした人さ
れた人、助けた人も助けられた
人、あたたかい気持ちになれる
のは、すばらしいと思ふ。わ
たしは、そんなあたたかい心をつ
くることが出来る人になりた
いと思ふ。

選評

おじいさんを心配したり、店員
さんの親切にほつとしたりするあ
なたの気持ちが自然に伝わってき
ます。あなたが一人を温かい目で
見つめていたからです。みんな
にとって、本当に「住み良い社会」
になっているか、厳しい目で見直
していきたいです。温かい心を持
ちたい、交わりたいたいというあな
たの真剣な思いをみんなに広げたい
と思ひます。

標語・中学生の部

蘭田美沙さん
(東中学校3年)

見つけよう

あの人この人

いろいろ